

## 医療・介護連携ノートの改善案について

自宅で、医療・介護サービスを利用しながら生活している 70 歳以上の高齢者本人や家族に関係する専門職種の連絡の推進のために作成したものになります。自宅だけでなく通院・通所にも持ち歩くことを想定しています。

平成 29 年 2 月に医療介護連携ノートを施行実施し、平成 30 年にケアマネジャーを対象にアンケート調査を行い、その結果をもとに改善案を事務局で作成いたしました。

課題（アンケートから挙げたもの）	改善案
1 ノート使用率が 21%と低い。 2 多職種との連携において「大いにできた」または「できた」と答えた方が 16%と低い。 3 関係者間の考え方の共有において「大いにできた」または「できた」と答えた方が 31%と低い。 4 二重記載の負担 5 ノートのサイズにおいて「やや小さい」または「小さすぎる」と答えた方が 61%と高い。 6 記入欄の大きさにおいて「十分であった」または「やや十分であった」と答えた方が 46%と低い。 7 記入欄が「書きづらい」との意見がある。	1・2 ケアマネジャーへの周知だけでなく、医師会等関係団体やサービス事業所に周知を行っていく。 1・3 『医療・介護連携ノートの使い方』の説明文を追加し、(1) 利用者・家族、(2) 関係者、それぞれに宛てたものに変更 4 すでに情報共有のためのノートがある場合には、当連携ノートを基本情報の共有ツールとして使用を勧める文章を『医療・介護連携ノートの使い方』に追加 4 『基本情報』に当連携ノート以外の情報共有のためのノートの使用の有無を答える欄を追加 5・6 『自由記載欄』のページを追加 5. 6・7 『支援の記録』の記入欄が大きくなるように変更。 7 『支援の記録』の項目の順番入替え。
その他改善案（上記改善案以外）	
1、アドバンス・ケア・プランニングの説明と記載欄を新規ページで追加。 2、『基本情報』に「ツクツク見守りたいの使用」を追加。 3、『基本情報』の相談者に「民生委員」を追加。	